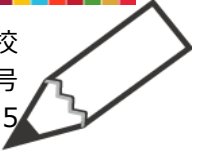




八坂小だより



東村山市立八坂小学校
令和 6 年度 3 月号
Tel 042-391-8115



ありがとう、ごめんなさい、さようなら

校長 西田 智男

1月の学校だよりで「1月は行く、2月は逃げる・・・」と綴ったような記憶がありますが、本当に月日は行って、逃げてしまいました。3月に入り、学年のまとめで学校中がいよいよあわただしさを増してきます。

2月18日に行われた縦割り班活動であるレインボー活動では、来年度リーダーを担当する5年生が中心となり、1～5年生が6年生へ感謝の気持ちを伝えるポスターを作成しました。児童一人一人が自分の似顔絵を持ち寄り、台紙に貼り付けました。その似顔絵の間に思い思いの装飾や絵を描き込んでいきました。1年間お世話になった6年生へのありがとうの気持ちを込め、全部で22枚のポスターが完成し、6年生の教室前の廊下などに掲示してあります。

さらに26日には6年生を送る会があり、各学年から6年生へ「ありがとう」の感謝を伝える出し物や歌が贈られました。そして6年生からも感謝の出し物とともに、在校生へのバトンが引き継がれました。一つ一つ大切な行事を終えながら、6年生は卒業へと向かい、1～5年生も次の学年に向けた心の準備を始めていきます。お別れの定番の言葉は「さようなら」ですが、その「さようなら」に行きつくまでに子供たちに忘れてほしくない大切な言葉があります。それは「ありがとう」と「ごめんなさい」です。

映画監督の大林宣彦さんが素敵な言葉を残しています。

「人は『ありがとう』の数だけ賢くなり、『ごめんなさい』の数だけ優しくなり、『さようなら』の数だけ愛を知るのだ。」

この1年間、八坂小学校の子供たちは授業や行事、休み時間や生活の中でたくさんの事を学びました。授業の中では「できた」「わかった」という喜びの声の他にも「できない」「わからない」「もう一回」という声。そんな時、友達に教えてもらい「わかった、ありがとう」という声が聞かれました。休み時間には元気な声が響き渡る一方で、時には喧嘩やトラブルになり、最後は仲直りをして「ごめんなさい」という声もありました。652人もの個性や価値観があり、一緒に生活していますから、良いことも、悪いことも、成功も失敗もたくさんあります。でも、その中で子供たちは「ありがとう」の数だけ賢くなり、「ごめんなさい」の数だけ優しくなったのだと思います。先ほどの大林監督の言葉の意味は、「ありがとう」は、僕とあなたを出会わせてくれた運命への感謝と僕に出会ってくれたあなたへの「ありがとう」。「ごめんなさい」は、そのあなたにもらったものの大きさに対して僕があげることができなかった多くの事についての申し訳なさいの「ごめんなさい」。そして最後は、礼儀を込めて「さようなら」ということのようなのです。

八坂小学校の子供たちが今のクラスで過ごすのは15～16日です。「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちがあふれるよう応援していきたいと思います。

学校評価アンケートへのご協力 ありがとうございました

今年度後期に実施した学校評価アンケート結果をグラフに示しました。本校では、保護者と児童に同じ項目のアンケートを実施しています。

全体的に児童の回答については肯定的な回答が9割を超えているものがほとんどでした。保護者の回答と比較して傾向を以下にまとめました。

「自分の学級にいることは楽しい」と感じている児童は92%でした。多くの児童が学校生活を楽しく送れている一方で、8%の児童がそう思っていない実情があることがわかります。児童一人ひとりが安心して楽しく過ごせるよう、年間3回のふれあいアンケートを実施しています。また、日々担任を中心に学校全体で指導体制を組んでいるところです。八坂小に通う児童全員が、一人ももれなく「学校が楽しい」と実感できる学校づくりを目指してまいります。保護者、地域の皆様のご理解、ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

タブレットの活用については、学年が上がるに連れて活用の広がりが見られます。91%の児童が「タブレットを活用しながら学習することができた」と回答しています。一方で、「子供は、授業や家庭学習でタブレットを積極的に活用している」と感じている保護者は72%でした。タブレットを使用することが目的ではなく、タブレットを使うことで授業内容の理解が深まることを目指しています。そのような姿をお知らせできるよう、今後より積極的に情報発信していきます。また、タブレット使用のルールについても、引き続き周知徹底していきます。ご家庭でもご協力をお願いします。

「授業や家庭学習を通して、四則計算が身に付いてきたと感じる」の設問では、「思う」「少し思う」を合わせると88%でした。これは、11月調査より3ポイント増加しています。朝学習の時間や算数少人数指導での四則計算のスキルアップに向けた取り組みによる成果であると考えられます。しかし、「習熟度別指導は、子供の理解が深まる指導となっている」の設問において、肯定的評価は53%に留まっていることから、どこに課題があったのかを検討し、改善を図っていきます。

<保護者の皆さんからのご質問に対する回答>

Q. クラスごとのルールではなく、学年ごと、学校のルールを統一してほしい。

A. 「八坂小学校のきまり」を基本とします。きまりについては、代表委員会を通じて児童と教員が話し合って改善を図っています。また、それをもとにさらに学年で統一して指導にあたっています。

Q. タブレットはもっと軽くて薄いものに変えてもらえないか。

A. タブレットは東村山市で決定し、支給されているものです。端末の重量に課題があることは承知しております。強度が高く、壊れにくいのが特徴です。一方で、特に低学年児童は、主に登下校時の負担となっています。そこで、学校として、家に持ち帰る教科書やノートを極力減らすなどの対策を講じています。

Q. 運動会のプログラムをコロナ以前に戻してほしい。

A. 校内の体育的行事委員会が中心となって、運動会の内容について検討しています。保護者の皆さんからいただいたご意見や他校の情報なども参考にしながら、子供たちにとってより充実した教育活動となるよう努めています。次年度は、団体競技を復活させる方向で考えています。どうぞ、お楽しみにしてください。

Q. クラブ活動の希望は、6年生を優先にせず、全体のバランスを考えて決定してほしい。

A. 4年生以上で行っているクラブ活動は、これまで希望調査をもとに、6年生を優先して決定していた面がありました。担当の特別活動部でも検討を重ねた結果、次年度からは学年が偏らないようにしていくことにしました。

Q. 2学期や3学期にも、希望者には個人面談を行ってほしい。

A. 本校では例年7月の第1週から個人面談を行わせていただいています。それ以外に、ご希望でしたら、年間を通していつでも担任と面談いただけます。気になることなどありましたらお気軽に、まずは担任へご連絡ください。

○その他にもたくさんのご意見をいただきました。いただいたご意見は次年度以降の教育活動に活かしてまいります。アンケートへのご協力、ありがとうございました。